

中山道千曲川往還橋

トピック(テーマ)	中山道千曲川往還橋		
ねらい	江戸時代、中山道の塩名田宿と御馬寄村の間には千曲川往還橋と呼ばれる橋が架けられていました(ごく一時期、船で渡すことが行われました)。この橋はどのようにして架けられ、どのように維持されたかを調べる。		
キーワード	中山道、塩名田宿、御馬寄村、千曲川、往還橋、中津橋、川越し、船渡し		
概要を知るためのツール	1	書名	中山道信濃二六宿
		著者名	長野県文化財保護協会／編
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1980.11.10
	内容紹介	長野県文化財保護協会が行なった中山道信濃二六宿の調査研究をまとめたもので、塩名田宿の項の「千曲川往還橋について」で、架橋の変遷や橋普請の概要などを調べることができる。	
	2	書名	浅科村史
著者名		浅科村史編纂委員会／編	
出版社		浅科村史刊行会	
出版年		2005.03.	
内容紹介	第二部歴史編第四章第八節三の「千曲川往還橋と橋組合」で、千曲川の利用、架橋方式の変化、保守、井形渡しの実態、往還橋組合の推移などを知ることができる。(千曲川往還橋関係年表あり)		
資料リスト	1	書名	中山道筋千曲川 川越しものがたり [シリーズ「浅科村の歴史2」]
		著者名	小林 基芳／著
		出版社	浅科村教育委員会
		出版年	1999.03.31
	内容紹介	橋のことも含めて、千曲川をどう渡ったか、地元塩名田・御馬寄の人々がそれをどのように支えたかといったことを、時代を追って全体的に調べられる。	
	2	書名	臼田町誌 第4巻(近世編)
著者名		臼田町誌編纂委員会／編纂	
出版社		佐久市臼田町誌刊行会	
出版年		2008	
内容紹介			
雑誌	1	論題名	中山道千曲川往還橋(一)—塩名田宿・御馬寄村間の橋について—
		著者名	木内寛／著
		雑誌名	信濃
		出版年	1973.05.01
		巻号頁数	第25巻第5号 40-54 通巻281号 414-428
	2	論題名	中山道千曲川往還橋(二)—塩名田宿・御馬寄村間の橋について—
著者名		木内寛／著	
雑誌名		信濃	
出版年		1973.06.01	
巻号頁数		第25巻第6号 47-60 通巻282号 513-526	
インターネット情報	1	サイト名	長野県市町村史誌等目次情報データベース
		URL	http://misuzu-mokuji.net/
		概要	県内の市町村史誌等の目次を検索することができる。
	2	サイト名	長野県内図書館横断検索サービス

中山道千曲川往還橋

	URL	http://www2.library.pref.nagano.jp/
	概要	千曲川往還橋に関する資料の県内図書館の所蔵状況を調べることができる
	3 サイト名	国立国会図書館サーチ
	URL	https://iss.ndl.go.jp/
	概要	千曲川往還橋に関する資料を調べることができる。
	1 記事	絵図通じ佐久地域知ろう
	発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊22ページ
	年月日	2018.3.12
	2 記事	浅科村・丸山家宅 難所控え栄えた宿場
	発行機関	信濃毎日新聞社・夕刊1ページ
	年月日	1998.4.25
	3 記事	千曲川越しの歴史出版 苦難・・・洪水や橋再建
	発行機関	信濃毎日新聞社・朝刊14ページ
年月日	1999.6.3	
コメント		雑誌『信濃』「中山道千曲川往還橋」は、この橋について最初に論じられた論文で、総体的に把握することができる。